

## 大学の世界展開力強化事業（平成 29 年度採択） 中間評価結果

大 学 名	東京外国語大学
整理番号	AR02
事 業 名	日露人的交流の飛躍的拡大に貢献する TUFSS 日露ビジネス人材育成プログラム

### 大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価  <span style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</span>	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
<p>コメント</p> <p>本プログラムは、日露間の交流実績を踏まえた上で、既存の枠組みである短期留学プログラムや長期留学プログラムを強化するとともに、インターンシッププログラムを加えることで、多様なビジネス分野に渡る応用力を備えた卓越した日露ビジネス人材を育成することを目的としている。</p> <p>学生交流については、派遣は全て単位取得を伴っており、計画を上回る順調な推移を示している。環境整備では、ロシアにおけるビジネス経験の豊富なコーディネーターを雇用するとともに、現地にはコーディネーターを、学内には卒業生を配置するなど、サポート体制の充実が図られている。また、日露ビジネス講義等の関連科目は学生の日露ビジネスへの関心と理解を深めていることが窺え、実学教育強化の優れた取組として評価できる。さらに、受入学生を対象に両国でインターンシップを実施し、産業界との連携も進んでいる。受入先の業種は多岐に渡り、学生に多様なビジネス分野の現場に触れさせる機会の提供に努めているが、ロシアビジネスの実学強化を勘案すれば、ロシア企業でのインターンシップの拡充はもちろんのこと、その実施にあたっては、一日限りの企業研修に留まらず、より長期の就業体験を含む世界標準のインターンシップを実施することの検討やその内容の多様化、階層化に努めることに期待したい。</p> <p>一方で、外国語力基準に関して、英語、ロシア語のいずれも目標を達成できていない。ロシア語検定試験対策講座や TOEIC 対策講座などによる対策以外にも、新たな対応が求められる。</p> <p>最後に、今後も補助期間終了後の安定的な財源確保に努めるとともに、学内や関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と将来の我が国の更なる発展に向け、積極的にプログラムを展開していくことを期待する。</p>	